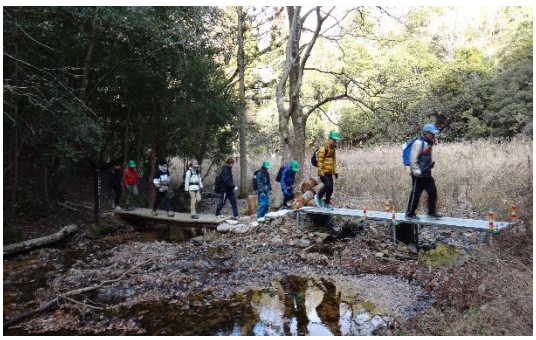
神戸市少年団登山教室山行（１月１１日）報告

２０２６．１．１４

１．参加者

教室生参加者　１９名
指導者　　岳連関係者４名　　岳連加盟団体会員　１名
　　教員ボランティア１名
　　大学生ボランティア　２名

２．記録



８時４５分　神戸地下鉄谷上駅改札口に教室生集合
９時　　神戸地下鉄谷上駅改札口　出発
　　山田道入口で準備体操
　　山田道を経て
１０時１６分　森林植物園　スポーツ広場　着
　　強風で見学の予定の「とんど焼き」は中止
　　トイレ休憩後森林植物園を出発
１１時　　森林植物園東門を通過
　　トウエンティクロスを下って河童橋、アジサイ広場を経て分水嶺へ向かう
１１時５２分　分水嶺　通過
　　途中から南に向かう登山道に入って再度公園に向かう

１２時２０分　再度公園　着
　　昼休み（昼食）
１２時５０分　再度公園　発
１３時　　再度山　着
　　大龍寺を経て
１４時０８分　市章山　着
　　錨山を経て諏訪山、ビーナスブリッジ、金星台、諏訪神社参道を通って
１５時　　諏訪山児童公園　着
　　今回山行の感想と次回山行の案内後、解散

３．準備物

神戸電鉄谷上駅から諏訪山児童公園までの地図
貸出し用コンパス（５個）　　名札

４．活動内容

寒波が到来して強風が吹く中の山行になった。雪もちらついたこともあり寒い１日だったが思ったほど天気は悪くもなく日差しもあった。強風のため森林植物園の「とんど焼き」が中止になり「お焚きあげ」のための正月飾りを持ってきた子ども達もいたので余計残念だった。

午前９時前に神戸市営地下鉄谷上駅に教室生、指導者が集まった。冬の登山道を歩く注意をして午前９時に出発。少し進んだ草地で準備体操をする。地図を広げて今日の山行のコースを説明して出発した。登山道は凍るほどではないが強風で木々の葉がザワザワと音を立てる中を進んだ。寒いが山歩きには汗をかきにくいので好都合だ。

山田道を進んで小休止を兼ねて地図を広げて現在位置の確認をする。そしてまた歩き出す。暫く歩いて森林植物園に到着。入口で「とんど焼き中止」の立て札を見る。強い風が吹いていたので予想はしていたが残念。せっかく来たので「とんど焼き」会場のスポーツ広場まで行って記念の集合写真を撮った。トイレ休憩後、後半のコースを出発。森林植物園を横切り東門からトウエンティクロスを下る。トウエンティクロスは穂高湖から流れる生田川の一部だ。冬枯れの木々に囲まれた谷を流れる清流で美しい。後で引率者から聞いた話だが子ども達の一人が「癒される！」と言っていたそうだ。この登山道には徳川道の説明の掲示板もあり興味深い。時々雪がチラつく中、上空の風の音を聞きながらトウエンティクロスを下る。清流に沿って川を下り河童橋を渡ってアジサイ広場で休憩。ここから再度公園に行くため分水嶺に向かう。雨が降ると分水嶺を境に東側は布引川（生田川）、西側は湊川水系に流れると説明する。分水嶺の道から左にそれた登山道を通って再度公園に入り昼食休憩をとった。寒いので昼休憩を短くする。事前に寒くなることが予想されていたので保護者には昼食には食べやすいパンやおにぎりを薦めていた。正解だった。１時前に再度公園を出発。再度山に登る。山頂から南側を眺めると東半分は雲に覆われ西半分は晴れていた。神戸の街やその前に拡がる海が冬の日差しを受けて光っていた。ここから大龍寺、善之助茶屋跡を通って市章山、錨山から神戸の街を見下ろしながら下って諏訪山公園に着く。ビーナスブリッジ、金星台の名前の由来になった「フランス金星観測記念碑」を見て諏訪山児童公園に午後３時に到着。会合の後、解散した。

今回の山行では列が伸びることがなく全員そろって山行をすることができた。登りが少なかったこともあるが、子ども達は最後まで遅れることなく元気に活動していた。今年度の登山教室も今回で１０回目、よく頑張ったと思う。残り２回の山行もこの調子で続けてほしい。

文責　大西